

[安部 司 (あべ つかさ) 氏 プロフィール]

一般社団法人加工食品診断士協会 代表理事、 食品添加物評論家

1951年、福岡県福岡市の農家に生まれる。

山口大学文理学部化学科卒業。総合商社食品課に勤務。食品および添加物に関わる仕事に従事。退職後、加工食品の開発や海外（中国、アメリカ、東南アジア地域）における食品の開発輸入に携わる。

現在、無添加食品の開発や伝統食品の復興、有機農産物の販売促進に取り組んでいる。

食品添加物の現状、食生活の危機を訴えた「食品の裏側」（東洋経済新報社）は中国、台湾、韓国でも翻訳出版され、70万部を突破するベストセラーとなり、新聞、雑誌、テレビにも取り上げられるなど大きな反響を呼んでいる。

2018年より（社）加工食品診断士協会の代表理事を務める。

一般社団法人 加工食品診断士協会ホームページ <https://shokuhin.or.jp/>

《取得資格》

農水省有機農業 JAS 判定員 経産省水質第一種公害防止管理者 食品製造関係特許 4 件取得

《著 書》

「食品の裏側」2005年 東洋経済新報社 「何を食べたらいいの？」2008年 新潮社
「安心な食品の見分け方」2009年 祥伝社 「食品の裏側2」実態編 2014年 東洋経済新報社
「素朴な疑問 食品の裏側から」2017年 不知火書房

住所

〒807-0075 福岡県北九州市八幡西区下上津役 4-2-30

専用 FAX 093-611-5292 e-mail : shokunouragawa@yahoo.co.jp

公式ホームページ <http://www.abetsukasa.com>



— 安部 司の想い —

私たちの社会は戦後、驚くほど豊かになり便利・快適になってきました。しかしこの便利で快適な生活の「裏側」には多くの化学物質があることを忘れてはいけません。

食品の世界においても同様です。楽に簡単に食事をすることができるのは「食品添加物」のおかげです。

今日の豊かな生活の裏で私たちは何を得て、何を失ってきたのか。また失いつつあるのか。

「食の危機」が叫ばれている現代、あらためて考えてみたいと思います。